

令和7年度 公益財団法人山口県スポーツ協会スポーツトレーナー研修会 開催要項

- 趣 旨 山口県の競技力向上を目指し、スポーツ現場における選手サポートの確立とスポーツトレーナーの資質の向上を図る。
- 主 催 公益財団法人山口県スポーツ協会
- 主 管 山口県アスレティックトレーナー協議会
- 日 程

	日時	会場	内容
①	5月11日(日) 9:00~13:00	陶地域交流センター 会議室	・普通救命I(修了証交付) 講師:山口南消防 ・アンチ・ドーピング講習 講師:恵谷誠司先生 ・トレーナー関連事業説明
②	11月30日(日) 13:00~16:00	セントコア山口 サファイア	・女性アスリートのコンディショニング 講師:宮本由記先生
③	令和8年 2月8日(日) 10:00~16:30	山口市小郡地域 交流センター 大ホール	・足から身体と環境の関係性を考える —トップアスリートの現場と靴づくり が導く、動作と感覚の再構築— 講師:村山拓也先生(株式会社ADLER)

- 対象者 令和6・7年度(公財)山口県スポーツ協会スポーツトレーナーバンク登録者
新規トレーナー(トレーナー活動に興味のある方)
- 受講形態 現地受講
- 申込方法 申込フォームにて申し込み
URL: <https://forms.gle/Ad8C1Td2VMp1p2kw5>
第3回締切 令和8年1月30日(金)
(先着順 定員50名程度)
- 持参物 ・筆記用具 ・動きやすい服装
- 連絡事項 ・トレーナー研修会は、トレーナーバンク登録のための義務研修となります。
時間を大幅に遅刻、または早退された場合は参加とは認められませんので、ご了承ください。
・申込フォームでの申し込みが難しい場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。



申込フォーム

- 問合せ (公財)山口県スポーツ協会
やまぐちスポーツ医・科学サポートセンター
〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県政資料館2階
TEL 083-933-4697
MAIL yamaguchi.ikagaku@yamaguchi-sports.or.jp

担当: 逢坂

第3回 スポーツトレーナー研修会 日程・内容

日時 令和8年2月8日(日) 10:00~16:30 (受付:9:30~)

会場 山口市小郡地域交流センター
(〒754-0002 山口市小郡下郷 609 番地 1)

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	
10:00~10:10	開会行事	
10:10~12:00	講義 【足から身体と環境の関係性を考える —トップアスリートの現場と靴づくりが導く、 動作と感覚の再構築—】 ※質疑応答含む	株式会社ADLER 村山 拓也 先生
昼休憩 (12:00~13:00)		
13:00~15:00	講義・実技 【足から身体と環境の関係性を考える —トップアスリートの現場と靴づくりが導く、 動作と感覚の再構築—】 ※質疑応答含む	株式会社ADLER 村山 拓也 先生
15:00~15:10	休憩	
15:10~15:30	滋賀国スポ・ブロック大会帯同報告	国スポ・ブロック大会 帯同者
15:30~16:20	【グループディスカッション】 講師講演に関連した内容、ATの役割、AI・デジタルデバイス活用等多様なテーマでディスカッションを実施	山口県AT協議会
16:20~16:30	閉会行事・事務連絡	

講師プロフィール

村山 拓也 (Takuya Murayama)

株式会社ADLER 代表取締役

株式会社寧楽之京師 代表取締役

- ・国産スポーツシューズメーカー
- ・子供靴の販売(足育)
- ・食事道の普及
- ・障がい福祉(自立支援)等



早稲田大学スポーツ科学部スポーツ医科学科にて川上泰雄教授(現・ヒューマンパフォーマンス研究所所長、早稲田大学理事)のもと、バイオメカニクス/生体ダイナミクスを専攻。豪州、欧州でプロサッカー選手としても活躍し、オーストラリアではスポーツコーチングおよびビジネスに関する専門資格を修める。

引退後、地元奈良の老舗国産スポーツシューズメーカーADLERの再建の為、参画し「足と靴から人を良くする」という理念のもと、国産スパイクの開発・製造・販売を一貫して手がけ、地域に根差したものづくりや日本の地場産業の価値再発見にも力を入れており、単なる商品開発にとどまらず、「考え方を届けるブランドづくり」を通して、日本ブランドの価値を再定義し、その強みを世界に向けて発信している。

活動領域は多岐にわたり、教育、健康産業、スポーツ、日本文化を軸にトップアスリートの動作分析やリハビリ指導の現場から、靴の啓発活動、さらには食や呼吸、心の在り方に至るまで、人の身体にまつわる幅広いテーマに取り組んでいる。それらを応用し、障がい者に向けた自立支援や子供たちの教育事業に精力的に取り組む。

温故知新の精神を軸に、科学と文化の両輪から「身体に調和する道具」を探求し続ける現場実践型の研究者・実業家である